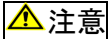
AP 乾湿両用集塵機　取扱説明書

この度はアストロプロダクツ･乾湿両用集塵機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に本取扱い説明書をよくお読みになり安全にお使い下さいますようお願い致します。

製　品　仕　様

AP 乾湿両用集塵機			
商品コード	2005000002311		
商品型番	AP 050231		
電　　源	AC100V	周波数	50/60Hz
消費電力	900W	電流	9A
吸込仕事率	220W	運転音	80ｄB
本体重量	5.7Kg	本体寸法	W:410×D:410×H:480
タンク容量	18L	吸水容量	9L

付属品：キャスター×④
ドライウェット両用ノズルX①
コーナーノズル×①
ストレートパイプ×②
ホース×①
フィルター×①
スポンジフィルターX①
フィルター押さえX①

※製品改良のため、主要機能及び形状などは予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

火災・感電・ケガなどの事故を未然に防止するため、以下に述べる「安全上のご注意」をすべて良くお読みになり、指示に従って正しく利用してください。また、お読みになった後は、使用者がいつでも見られる所に大切に保管してください。

安全上のご注意

※本機を使用する際、安全上の基本的な注意事項や危険予知を怠ると、本機の破損・物損・人身事故が発生する可能性があります。危険を予知することにより、事故を未然に防ぐことができますので、どのような危険が存在するか注意する必要があります。
※この取扱い説明書中の基本的事項及び ⚠警告 ⚠注意 注記を良く読み理解した上、本機をご使用ください。

◎⚠警告 ⚠注意 注記の意味について

⚠警告：**潜在する危険な状態を示し、誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

⚠注意：**潜在する危険な状態を示し、誤った取扱いをしたときに、使用者が中・軽傷を負う可能性が想定される内容。及び物的障害のみの発生が想定される内容。**

注　記：**製品及び付属品の取扱い等に関する重要な注意事項。**

⚠警告

・修理技術者以外の人は、この取り扱い説明書に記載されていない本体の分解また修理・改造は行わないで下さい。発火、異常動作をしてケガをする恐れがあります。また、本機故障の原因となります。
・雨中で使用しないで下さい。また、湿気の多い場所や本体が濡れる可能性のある場所では使用しないで下さい。感電や発煙の恐れがあります。
・濡れた手で使用しないで下さい。ショート、感電の恐れがあります。
・可燃性の液体、ガスのある場所では使用しないで下さい。爆発や火災の恐れがあります。
・使用場所は整理し、充分明るくして下さい。暗い中や散らかった場所は事故の原因なります。
・使用中は送風口や吸入口等に顔や手を近付けないで下さい。ケガの恐れがあります。
・スイッチに指をかけての移動等はしないで下さい。本体が作動しケガの原因になります。
・作業中は本体を確実に保持して下さい。保持していないとケガの恐れがあります。
・作業中は保護メガネを着用して下さい。また、粉塵の多い場所では保護マスクを着用して下さい。粉塵が目や鼻に入る恐れがあります。
・使用しないときや点検、手入れのとき、その他にも危険が予想される場合は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
・本取扱い説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないで

下さい。事故やケガの原因となる恐れがあります。
・100Ｖ用のモーターを 200Ｖで使用しますと、モーターの発熱や回転が高速となりケガの原因となり危険です。また、低い電圧で使用しますと、力不足になります。
・子供や幼児の手の届くところでは使用しないで下さい。また、電気コードに触れさせないで下さい。感電やケガの恐れがあります。
・作業者以外、電源コードには触れさせないで下さい。また、作業場へ近づけさせないで下さい。ケガの恐れがあります。
・異常に気が付いた場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店まで点検修理に出して下さい。
・水など液体をかけたり、吹き付けたりしないで下さい。漏電により、火災・感電の恐れがあります。
・誤って落としたり、ぶつけたりした場合は、異常の有無を確認して下さい。破損や亀裂、変形があるとケガの原因になります。
・騒音の大きな作業では耳栓等の防音保護具を着用して下さい。
・電源を入れる前に必ず工具類が外してあることを確認してからご使用下さい。

⚠注意

・電源コードを乱暴に扱わないで下さい。コードを引っ張ってコンセントから抜かないで下さい。電源プラグを持って引き抜いて下さい。感電やショートして発火することがあります。
・コードを熱、油、角のとがった場所には近づけないで下さい。
・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は感電やショートの恐れがありますので、必ずお買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。
・必ず、本体の電源スイッチが「OFF」になっていることを確かめてから電源プラグを抜き差しして下さい。また、濡れた手で抜き差ししないで下さい。感電の恐れがあります。
・安全に効率よく作業する為にも無理をせず能力に合った速度で作業して下さい。能力以上の作業は事故の恐れがあります。
・故意にモーターをロックさせるような使用は避けて下さい。発煙、発火の恐れがあります。
・使用中は巻き込まれる恐れがある手袋等は着用しないで下さい。回転部に巻き込まれる恐れがあり、ケガの原因になります。
・温度が 40℃以上になる可能性のある場所（車内、暖房器付近等）での保管は避けて下さい。
・指定外の用途には使用しないで下さい。
・付属品の交換は取扱説明書に従って行って下さい。
・握り部は常に乾かして綺麗な状態を保って下さい。水分、油等が付いていますとケガの原因になります。
・電動工具を使用する際は取扱方法、作業方法、周囲の状況等に十分注意し慎重に作業して下さい。事故やケガの原因になります。
・長い髪は回転部に巻き込まれる恐れがある為帽子等を着用し、覆ってから作業して下

さい。
・サイズの大きめな服、ネックレス等の装飾品は着用しないで下さい。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
・滑りやすい手袋や履物を着用して作業しますとケガの恐れがあります。
・常に足元をしっかりさせ、バランスを保って下さい。転倒によってケガの恐れがあります。また、脚立等の不安定な場所での作業は十分注意して下さい。
・常識を働かせ、非常識な行動はしないで下さい。また、疲れている場合は使用しないで下さい。ケガや事故の原因になります。
・付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けて下さい。確実に取り付いていないと、使用中に外れたりして、ケガの恐れがあります。
・作業場はいつも綺麗な状態を保って下さい。散らかった作業場は事故の恐れがあります。
・送風口や吸入口を絶対に塞がないで下さい。モーター焼損の原因となり大変危険です。
・ビス等の固くて小さい物を集塵させないで下さい。ファン焼損の原因となり大変危険です。
・ストーブ等の加熱品を掃除する際は、完全に消火されていることを確認してから、作業して下さい。
・作業中、本機を転倒させた場合は、直ちに起こして下さい。また、水を吸引中に転倒させた場合は、本機をよく乾燥させてから再度使用して下さい。
・吸引作業終了後は直ちに、タンク内のゴミ、水等をすぐに捨て本機内部を綺麗に清掃し、十分に乾燥させてから保管して下さい。ゴミや水等の吸引物をタンク内に留めたまま放置しますと、カビやサビ等の発生原因となります。
・洗剤や洗剤を含む水は吸引しないで下さい。排気口から泡が吹き出す恐れがあります。
・高所作業をする場合は、下に人がいないことをよく確認してから作業を行って下さい。また、コードを引っ掛けたりしないで下さい。材料や機体等の落下事故の原因になります。
・子供の手の届かない場所に保管して下さい。ケガや事故の原因になります。

⚠警告（下記の物は絶対に吸い込まないで下さい。）

・アルミニウム、マグネシウム、チタン亜鉛等の爆発性粉塵。
・ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油塗料等、引火性の強い物、薬品等科学物質。
・焚き火の残り火、タバコの吸い殻、高温な物、高速切断機・グラインダー・溶接機から発生する火花を含む粉塵。
・セメント粉、コピー機等のトナーの微粉塵。
・ガラス、カミソリ、押しピン、針などの鋭利な物。

■各部の名称

ホース
ストレートパイプ
スイッチ
モーター部
タンク
キャスター
ドライウェット両用ノズル

コーナーノズル

ウェットブラシ
ドライブラシ

フィルター
フィルタースポンジ

吸入口

排気口
電源コード

■ご使用前の準備

①本体底部のキャスター差込み穴にキャスターを差込みます。差込む際、しっかりと奥まで差込んで下さい。奥まで差込まないと本体ガタ付きの原因となります。

②吸引口にホースを差込み、凸部と凹部を合わせ時計回りに回ししっかりと固定します。

③ホースの先にストレートパイプや先端ノズル類を取り付けます。

＊用途に応じてパイプの長さや、先端ノズルを変更して下さい。

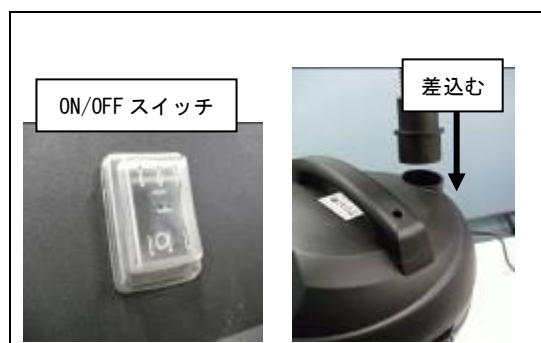
注意

・組み立ての際は、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

■ご使用方法

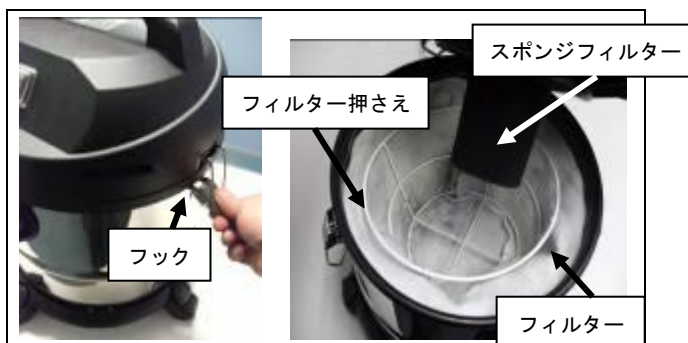
①本体モーター部にあるスイッチを「ON」にして運転を開始します。

＊「ー」側を押すと ON/運転開始し「〇」側を押すと OFF/運転を停止します。

②スイッチを「ON」にしますと、モーターが回転し吸引作業を行えます。吸引作業の他に、排気口にホースを差込むとブロア作業も行えます。

＊ドライウェット両用ノズルを装着している場合は、ゴミ・粉塵の他に水分を吸引できます。

注意： 吸水作業の際は、フィルター、スポンジフィルターを取り外して使用しないで下さい。故障の原因になります。

③吸引・吸水作業が終了しましたら、タンクとモーター部を固定しているフック 2 箇所を外して下さい。

④フックを外したら、モーター部を持ち上げ、フィルター押さえ、フィルター、スポンジフィルターを取り外し下さい。

⑤取り外したフィルター、スポンジフィルターは綺麗に洗浄し、よく乾燥させた後は元通りに取り付けて下さい。

注意： エアブロー、水洗い等でフィルターを洗浄して下さい。灯油、シンナー、ガソリン等では絶対に洗浄しないで下さい。

警告

電源プラグを差込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認して下さい。スイッチを入れたまま、電源プラグを差込むと急に作動し事故の原因になります。

■保守・点検

・フィルターが目詰まりしていると吸引力の低下を引き起こす場合があります。
・定期的にホースの点検を行って下さい。（ひび割れ、亀裂等）
・長時間の使用後や何度かの使用後にはフィルターの汚れ等を確認して下さい。
・フィルターに付着した細かいゴミ、ホコリ等は綺麗にエアブロー等で吹き飛ばして下さい。
・泥等の汚れはしっかりと洗い流すようにして下さい。洗った後は、よく乾燥させて下さい。
・水分等を吸引した場合は、よく乾燥させて下さい。特にタンク内は、サビ等の発生の原因になります。

＊オプション部品としまして、フィルター、スポンジフィルターをご用意しております。
お求めの際は、お買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

警告

整備点検や部品交換、手入れの際は必ず、スイッチが切れている事を確認し、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

故障と思われる場合、修理依頼をする前に一度、下記のトラブルシューティングに該当する内容がないか確認して下さい。該当する項目があった場合は記載内容に従い、処置を行って下さい。

■トラブルシューティング

項目	原因	処置
モーターが作動しない	電源から入力が無い。	電源電線及びプラグ内の結線をチェックする。
	カーボンブラシの摩耗	替えのカーボンブラシは付属してません。お買い上げの販売店に、ご相談下さい。
吸引力が弱い	ホースの取り付けが不十分	ホースがしっかり取り付けてあるか、確認して下さい。

	タンク内にゴミが溜まっている	タンク内のゴミを処理し、内部を清掃して下さい。
	フィルターが目詰まりをしている。	フィルター及びスポンジフィルターを清掃して下さい。
	ホース内のゴミ詰まり	詰まったゴミを取り除く

所有者・使用者責任

所有者、及び使用者は当該商品を使用する前に、メーカーからの説明書（警告文）を良く読み、理解しなければなりません。資格を持ち、自動車の構造、及び構成している部品等をよく理解し、十分な経験のある人が責任を持って当該商品を使用した作業を行うようにして下さい。警告事項は特に良く理解するようにして下さい。
所有者、及び使用者は今後の作業の上で、メーカーからの推奨事項を常に把握し、維持するように努めてください。また、警告ラベル、説明書等については、いつでも読む事が出来るように良い状態で保管して下さい。

故障について

上記のトラブルシューティングに従い、処置を行っても症状が改善されない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店又は販売元にお問い合わせ下さい。

■お問合せ先

株式会社ワールドツール
〒361-0056　埼玉県行田市持田 2091-1
電話：０４８－５６４－６９７０（代）
ＦＡＸ：０４８－５６４－６９７１